

行政視察等報告書

令和元年10月30日

米子市議会議長様

会派名 よなご・未来

代表者氏名 西川 章三

提出者氏名 矢倉 強



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	矢倉 強
期日	〔行政視察〕令和元年10月23日から10月25日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容) 市政に関する先進地視察 10月23日 移動 10月24日 名寄市：なよろ市立天文台「きたすばる」のプラネタリウムについて 10月25日 旭川市：旭川市地域公共交通網形成計画について	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 116,429円

視察報告

令和元年10月30日
よなご・未来 矢倉ツヨシ

10月23日（水）
米子空港 名寄駅着 名寄宿泊

10月24日（木）
名寄市行政視察
(調査項目) 名寄市立天文台（きたすばる）のプラネタリウムについて

当日、天文台長と天文台名誉会長から説明を受けた。二人とも全国の天文台に精通しておられ米子市のプラネタリウムについてもよくご存じだった。

名寄市の天文台は、平成4年に私設天文台を譲り受け市立天文台として設置してきた。その間、担当技術により超新星を3個発見するなどの大きな役割を果たしてきた。その後、改修に着手し、これを機会に北海道大学が名寄市の天文台観測の条件が良いのに着目し、ピリカ望遠鏡を設置することになった。

この大型望遠鏡（全国で2番目の大きさ）を開放し市内外から多くの方に来場していただき、天体を見ていたいしている。きたすばるの職員は、ピリカ望遠鏡を北海道大学と共同で使用し世界的な研究発表を行っている。

また、児童、生徒の学習にも協力している。

米子市へのアドバイスとして、新たにスタートするにあたり、多くの人に来場していただくためには、全国にプラネタリウムが400ヶ所以上もある中で、徹底的な差別化がなされなければとても注目されることは出来ない。業者に発注するだけでなく、厳しくどんなほかの施設との差別化を図っているのかカメラなどのメンテナンスの経費はどうなのか、しつこく問うていかなければ業者任せでは、高いランニングコストがかかる例が多い。県内では、佐治にある天文台はうまくやっている。見習うべきだ。米子市は特に人材育成に力を入れる必要がある。プラネタリウムは、子どもと言葉イメージを払拭すること、あらゆる年代の人に注目していただくような施策をすることなど貴重なご意見をいただいた。

10月25日（金）
旭川市行政視察
(調査項目) 旭川市地域公共交通網形成計画について
人口減少や少子高齢化が進む旭川市にあって、社会情勢ににあった市民生活や地域振興に欠かせない公共交通網を維持、発展を図るため、事業者と共同で持続可能な交通体系の構築と利用促進に向け計画を策定されたものである。
計画策定の背景にあったのは、少子化や人口減少によって公共交通の利用者の減少、

バスの運転者不足、路線バスのさまざまな事情により維持が困難な状況、JR北海道の宗谷本線、石北本線、富良野本線の維持が困難なこと、国の交通政策基本法が施行されたこと、公共交通を取り巻く環境が変化し見直しが必要となったことなどである。

事業の進捗状況・効果については、路線バス、デマンド交通など赤字路線への補助、UDタクシーへの補助、多言語対応など案内の充実などがある。

今後の予定・課題としては、キャッシュレス決済への対応、空港二次交通の充実、自動運転への対応などがある。また、生活路線の確保、高齢化に対応した移動手段の確保、通学、通勤ニーズへの対応などがある。

私が観察して感じたことは、業者間の意思疎通に問題があること、高齢者対応、免許返納者への特典があまりないことなど不備な点が多い。利用促進に向けたニーズの掘り起しが弱い、自動運転時代に向けた計画の策定が遅れていることなどがある。

本市のもつ課題と同じような問題点を抱えている。本市は少子高齢化、社会構造の変化に対応するうえで公共交通網の整備は待ったなしの状況にある。業者と協調し、循環バスの大幅な増強を図るための計画策定を急がなければならないし、自動運転の路線バス運行は遠くない日に実現する可能性があり、抜本的な交通体系の見直しを模索すべし。

行政観察行程（会派：よなご・未来）

月 日	行 程	宿 泊 地
10／23 (水)	8:45 米子空港 ————— 10:05 ANA384便 羽田空港 ————— 11:15 ANA4783便 旭川空港 ————— 12:50 空港バス	13:20 JR宗谷本線 快速なよろ3号・名寄行
10／24 (木)	名寄駅 ————— なよろ市立天文台 (送迎)	JRイン旭川 ☎0166-24-8888
	名寄市行政視察 午前10時00分から午前11時30分まで 【調査項目】なよろ市立天文台「きたすばる」のプラネタリウムについて	
	なよろ市立天文台 ————— 13:25 (送迎) 名寄駅 ————— 14:45 JR宗谷本線 快速なよろ6号・旭川行	
10／25 (金)	旭川駅 ————— 市役所 タクシー	
	旭川市行政視察 午前9時30分から午前10時30分まで 【調査項目】旭川市地域公共交通網形成計画について	
	市役所 ————— 11:00 空港バス ANA4784便	11:50 旭川空港 ————— 13:25 羽田空港 ————— 15:10 ANA387
		18:20 米子空港
		19:40

旅費計算表

よなご・未来会派行政視察
北海道名寄市、北海道旭川市

令和元年10月23日 ~ 令和元年10月25日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線名	区 口	間 数	目的 地キロ数	運 費	賃 グリーン	急 行 料 金	当 宿	泊 料
10/23 (水)	名寄空港～羽田空港	ANA			36,980			議員1,500円 随行1,100円	甲 14,800円 10,900円	乙 13,300円 9,800円
	～旭川空港	ANA						1,500		9,025
	～旭川駅	バス			630					
	～名寄駅	JR			1,890					
10/24 (木)	名寄駅～旭川駅	JR			1,890			1,500		7,900
10/25 (金)	旭川駅～旭川空港	バス			630			1,500		
	～羽田空港	ANA			21,490					
	～米子空港	ANA			25,690					
計	議員旅費	110,625			110,625		89,200	0	0	4,500
	随行旅費				0					0
出	席議員矢倉強									16,925
	旅費総額									116,429

議員旅費	110,625	110,625 円
タクシーレ代	620 × 1 =	620 円(旭川駅→旭川市役所)
お土産代	2万所	5,184 円(名寄市、旭川市)
旅費総額		116,429 円